

調査結果の概要

幼児・児童及び生徒の発育状態

1 身長(表1)

(1) 前年度との比較

- ・男子は、7歳、11歳、13歳、14歳、17歳の各年齢で前年度より増加している。
- ・女子は、5歳、7歳、8歳、10歳、11歳、14歳から16歳の各年齢で前年度より増加している。

(2) 全国平均値との比較

- ・男子は、7歳、10歳、13歳、14歳、16歳、17歳の各年齢で上回っている。
- ・女子は、6歳、7歳、9歳から11歳、14歳から16歳の各年齢で上回っている。

(3) 30年前(親の世代)との比較

- ・男女とも、すべての年齢において30年前を上回っている。
- このうち、最も伸びの大きい年齢は、男子が12歳(152.4cm)で3.6cm、女子は11歳(147.5cm)で3.1cm高くなっている。

(4) 男子と女子の比較

- ・9歳から11歳までは、女子が男子を上回っている。

図1 平均身長の推移(男子)

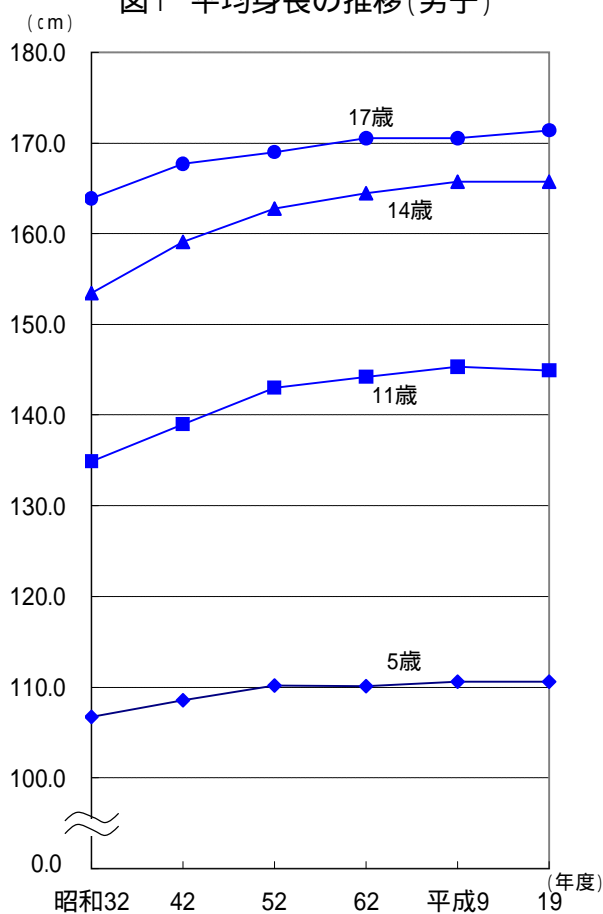
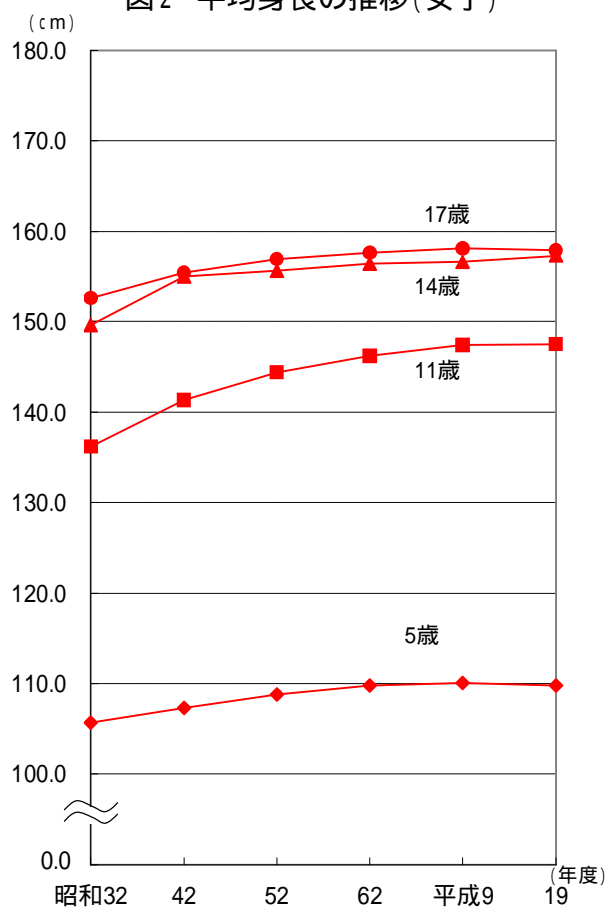


図2 平均身長の推移(女子)



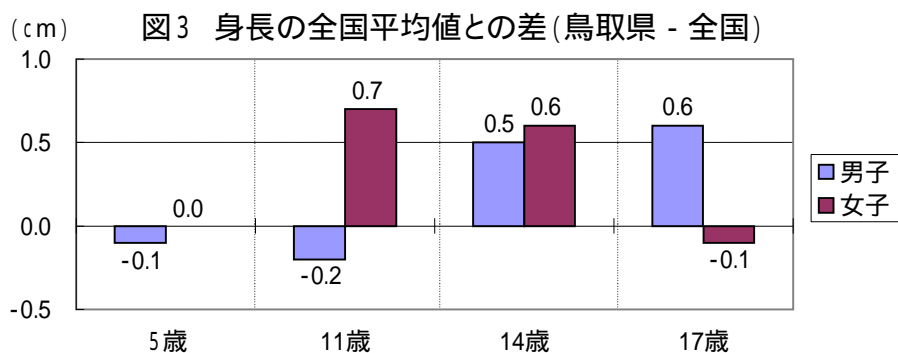


表1 年齢別 身長の平均値

(単位: cm)

区分		平成19年度 A	平成18年度 B	A - B	全国(H19) C	A - C	30年前 D(親の世代)	A - D	
男子	幼稚園	5歳	110.6	110.6	0.0	110.7	-0.1	110.2	0.4
	小学校	6歳	116.3	116.8	-0.5	116.6	-0.3	115.0	1.3
		7歳	122.9	122.6	0.3	122.5	0.4	120.6	2.3
		8歳	128.2	128.2	0.0	128.3	-0.1	126.0	2.2
		9歳	133.3	133.3	0.0	133.6	-0.3	131.5	1.8
		10歳	139.1	139.5	-0.4	139.0	0.1	137.4	1.7
		11歳	144.9	144.7	0.2	145.1	-0.2	143.0	1.9
	中学校	12歳	152.4	152.4	0.0	152.5	-0.1	148.8	3.6
		13歳	160.0	159.8	0.2	159.8	0.2	157.5	2.5
		14歳	165.7	165.2	0.5	165.2	0.5	162.8	2.9
	高等学校	15歳	168.4	169.2	-0.8	168.5	-0.1	166.6	1.8
		16歳	170.3	170.4	-0.1	170.0	0.3	168.7	1.6
		17歳	171.4	171.1	0.3	170.8	0.6	169.0	2.4
女子	幼稚園	5歳	109.8	109.7	0.1	109.8	0.0	108.8	1.0
	小学校	6歳	116.1	116.3	-0.2	115.8	0.3	114.3	1.8
		7歳	121.8	121.4	0.4	121.6	0.2	120.1	1.7
		8歳	127.4	127.0	0.4	127.4	0.0	126.1	1.3
		9歳	133.9	133.9	0.0	133.5	0.4	132.2	1.7
		10歳	140.4	140.1	0.3	140.3	0.1	137.8	2.6
		11歳	147.5	147.1	0.4	146.8	0.7	144.4	3.1
	中学校	12歳	151.8	151.8	0.0	152.1	-0.3	150.4	1.4
		13歳	155.0	155.6	-0.6	155.1	-0.1	153.8	1.2
		14歳	157.3	156.8	0.5	156.7	0.6	155.6	1.7
	高等学校	15歳	158.0	157.6	0.4	157.3	0.7	156.1	1.9
		16歳	158.0	157.8	0.2	157.8	0.2	156.9	1.1
		17歳	157.9	158.7	-0.8	158.0	-0.1	156.9	1.0

30年前(親の世代)は、昭和52年度のデータ。

2 体重(表2)

(1)前年度との比較

- ・男子は、5歳、9歳、10歳、17歳の各年齢で前年度より増加している。
- ・女子は、7歳、8歳、10歳、11歳、14歳、17歳の各年齢で前年度より増加している。

(2)全国平均値との比較

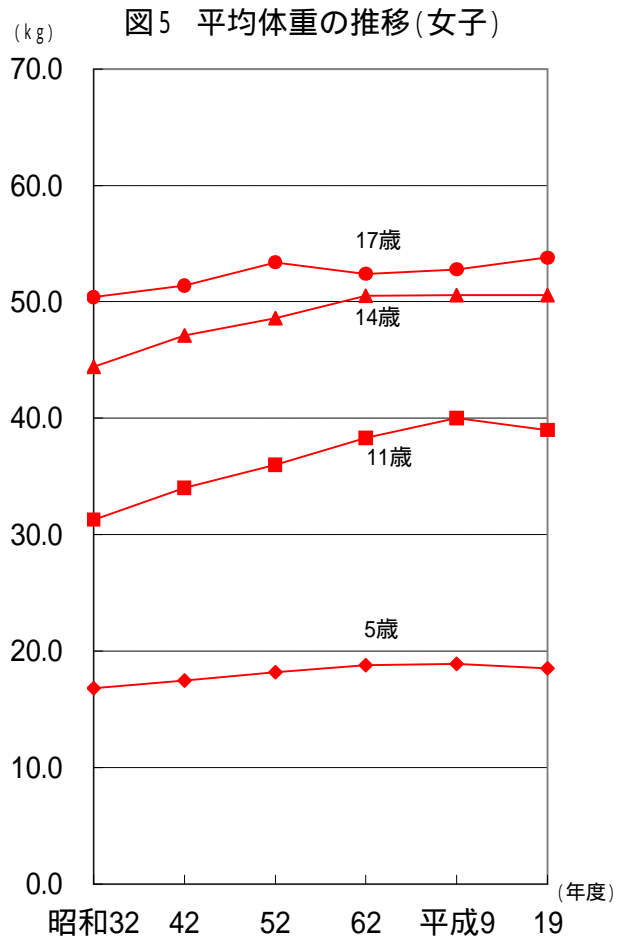
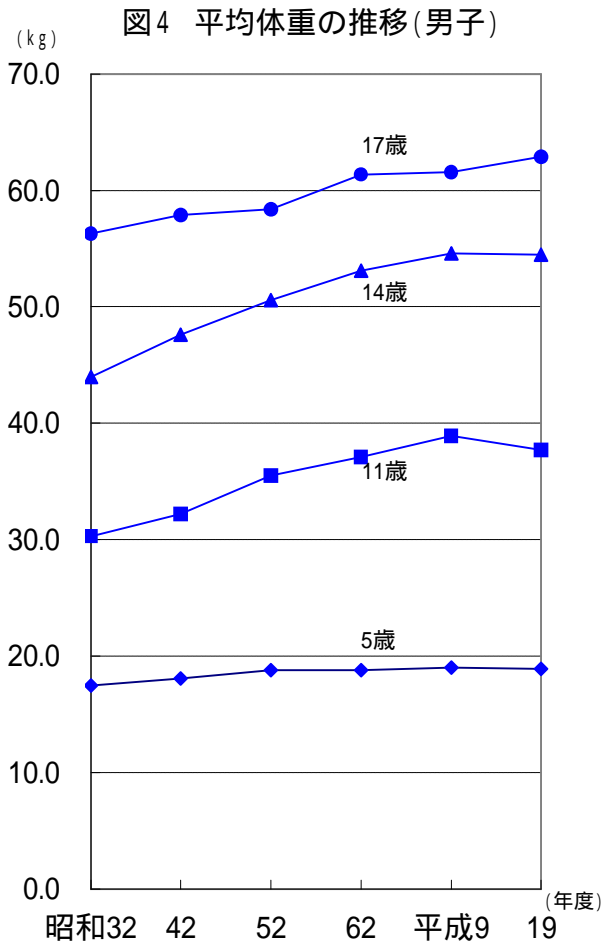
- ・男子は7歳で上回り、10歳で同じとなっているほかは、各年齢で下回っている。
- ・女子は6歳、7歳、14歳、17歳の各年齢で上回っている。

(3)30年前(親の世代)との比較

- ・男子は、すべての年齢において、30年前を上回っている。
 - ・女子は、16歳で下回っているほかは、30年前を上回っている。
- このうち最も伸びの大きい年齢は、男子が17歳(62.9kg)で4.5kg、女子が11歳(39.0kg)で3.0kg重くなっている。

(4)男子と女子の比較

- ・11歳と12歳では、女子が男子を上回っている。



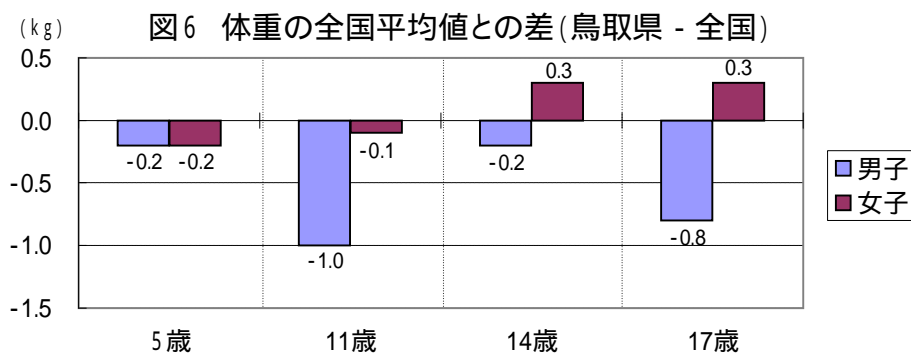


表2 年齢別 体重の平均値

(単位: kg)

区分		平成19年度 A	平成18年度 B	A - B	全国(H19) C	A - C	30年前 D(親の世代)	A - D	
男子	幼稚園	5歳	18.9	18.8	0.1	19.1	-0.2	18.8	0.1
	小学校	6歳	21.3	21.6	-0.3	21.5	-0.2	20.3	1.0
		7歳	24.3	24.4	-0.1	24.2	0.1	22.8	1.5
		8歳	27.1	27.3	-0.2	27.4	-0.3	24.9	2.2
		9歳	30.3	30.1	0.2	30.7	-0.4	28.1	2.2
		10歳	34.4	34.3	0.1	34.4	0.0	31.6	2.8
		11歳	37.7	38.2	-0.5	38.7	-1.0	35.5	2.2
	中学校	12歳	43.5	44.3	-0.8	44.5	-1.0	39.6	3.9
		13歳	49.1	49.6	-0.5	49.6	-0.5	46.5	2.6
		14歳	54.5	54.7	-0.2	54.7	-0.2	50.6	3.9
	高等学校	15歳	58.6	59.9	-1.3	60.0	-1.4	55.3	3.3
16歳		60.3	62.7	-2.4	62.0	-1.7	56.9	3.4	
17歳		62.9	62.6	0.3	63.7	-0.8	58.4	4.5	
女子	幼稚園	5歳	18.5	18.5	0.0	18.7	-0.2	18.2	0.3
	小学校	6歳	21.3	21.3	0.0	21.0	0.3	20.2	1.1
		7歳	23.6	23.3	0.3	23.5	0.1	22.1	1.5
		8歳	26.5	26.3	0.2	26.6	-0.1	25.0	1.5
		9歳	30.0	30.6	-0.6	30.0	0.0	28.4	1.6
		10歳	34.1	33.4	0.7	34.3	-0.2	32.1	2.0
		11歳	39.0	38.8	0.2	39.1	-0.1	36.0	3.0
	中学校	12歳	43.9	44.2	-0.3	44.1	-0.2	42.0	1.9
		13歳	47.1	48.2	-1.1	47.6	-0.5	45.7	1.4
		14歳	50.6	50.2	0.4	50.3	0.3	48.6	2.0
	高等学校	15歳	51.5	51.6	-0.1	52.1	-0.6	51.3	0.2
16歳		52.7	52.7	0.0	53.2	-0.5	53.3	-0.6	
17歳		53.8	53.2	0.6	53.5	0.3	53.4	0.4	

30年前(親の世代)は、昭和52年度のデータ。

3 座高(表3)

(1)前年度との比較

- ・男子は、7歳、9歳、11歳、13歳、14歳、17歳の各年齢で前年度より増加している。
- ・女子は、9歳、12歳、17歳で減少し、13歳で同じであるほかは、前年度より増加している。

(2)全国平均値との比較

- ・男子は6歳、8歳、9歳で同じとなっているほかは、全国平均値を上回っている。
- ・女子は12歳で下回っているほかは、全国平均値を上回っている。

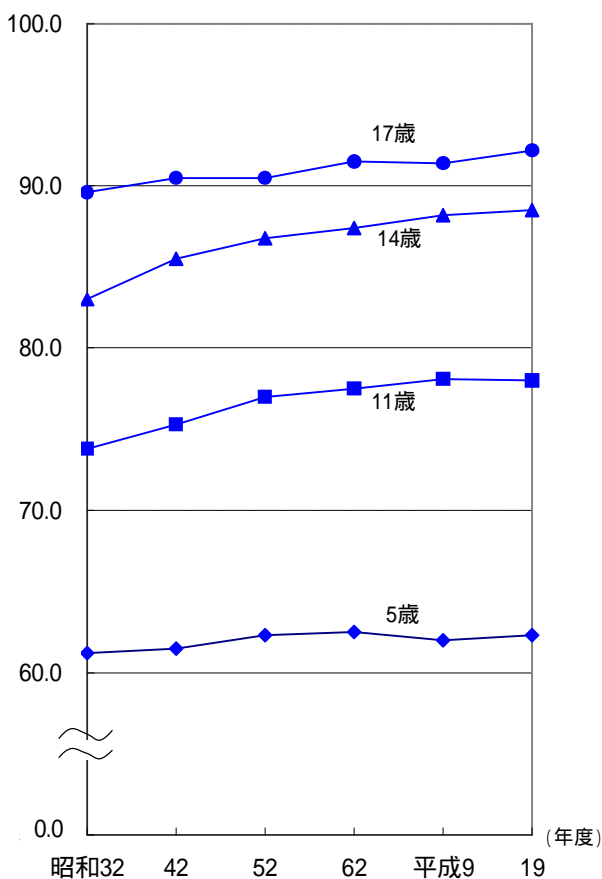
(3)30年前(親の世代)との比較

- ・男子は5歳で同じとなっているほかは、30年前を上回っている。
 - ・女子はすべての年齢において、30年前を上回っている。
- このうち、最も伸びの大きい年齢は、男子が14歳(88.5cm)及び17歳(92.2cm)で1.7cm、女子は11歳(79.7cm)で1.4cm高くなっている。

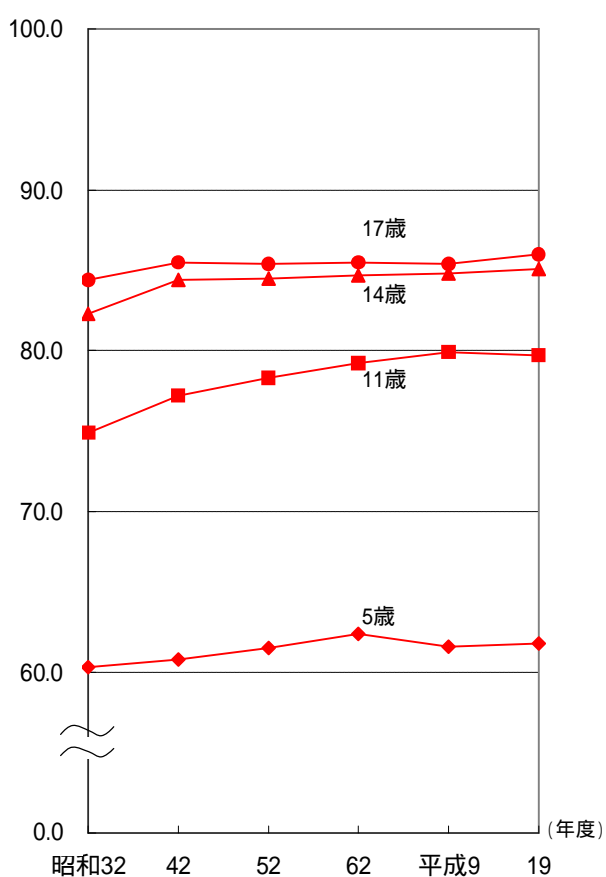
(4)男子と女子の比較

- ・6歳と9歳から12歳までは、女子が男子を上回っている。

(cm) 図7 平均座高の推移(男子)



(cm) 図8 平均座高の推移(女子)



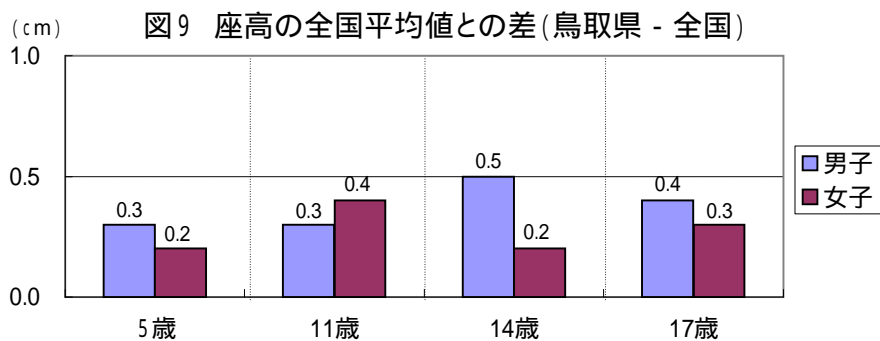


表3 年齢別 座高の平均値

(単位:cm)

区分		平成19年度 A	平成18年度 B	A - B	全国(H19) C	A - C	30年前 D(親の世代)	A - D	
男子	幼稚園	5歳	62.3	62.4	-0.1	62.0	0.3	62.3	0.0
	小学校	6歳	64.8	65.2	-0.4	64.8	0.0	64.7	0.1
		7歳	68.0	67.9	0.1	67.7	0.3	67.4	0.6
		8歳	70.4	70.5	-0.1	70.4	0.0	69.8	0.6
		9歳	72.7	72.6	0.1	72.7	0.0	72.3	0.4
		10歳	75.3	75.5	-0.2	75.1	0.2	74.8	0.5
		11歳	78.0	77.8	0.2	77.7	0.3	77.0	1.0
	中学校	12歳	81.4	81.5	-0.1	81.3	0.1	79.9	1.5
		13歳	85.3	85.2	0.1	85.0	0.3	84.2	1.1
		14歳	88.5	88.1	0.4	88.0	0.5	86.8	1.7
	高等学校	15歳	90.5	90.7	-0.2	90.2	0.3	89.4	1.1
		16歳	91.5	91.6	-0.1	91.3	0.2	90.4	1.1
		17歳	92.2	92.1	0.1	91.8	0.4	90.5	1.7
女子	幼稚園	5歳	61.8	61.7	0.1	61.6	0.2	61.5	0.3
	小学校	6歳	64.9	64.8	0.1	64.5	0.4	64.5	0.4
		7歳	67.6	67.1	0.5	67.3	0.3	67.1	0.5
		8歳	70.2	69.9	0.3	70.0	0.2	69.7	0.5
		9歳	73.1	73.2	-0.1	72.8	0.3	72.6	0.5
		10歳	76.2	76.1	0.1	76.0	0.2	75.1	1.1
		11歳	79.7	79.4	0.3	79.3	0.4	78.3	1.4
	中学校	12歳	82.1	82.2	-0.1	82.2	-0.1	81.8	0.3
		13歳	84.0	84.0	0.0	83.9	0.1	83.6	0.4
		14歳	85.1	84.9	0.2	84.9	0.2	84.5	0.6
	高等学校	15歳	85.9	85.8	0.1	85.4	0.5	85.3	0.6
		16歳	85.9	85.8	0.1	85.6	0.3	85.6	0.3
		17歳	86.0	86.2	-0.2	85.7	0.3	85.4	0.6

30年前(親の世代)は、昭和52年度のデータ。

幼児・児童及び生徒の健康状態

1 主な疾病・異常

(1)前年度との比較

裸眼視力1.0未満の者

- ・「裸眼視力1.0未満の者」の割合は、男子は高等学校で前年度より高くなっているが、小学校、中学校では低くなっている。
- ・女子は小学校、高等学校で前年度より高くなっているが、中学校では低くなっている。
- ・小学校、中学校、高等学校ともに男子より女子の方が高くなっている。

むし歯(う歯)

- ・疾病・異常の割合が最も高いのは、「むし歯(う歯)」である。
- ・「むし歯」の者の割合は、男子、女子ともに小学校で高くなっているほかは、前年度より低くなっている。
- ・幼稚園、小学校では女子より男子の方が高く、中学校、高等学校では男子より女子の方が高くなっている。

ぜんそく

- ・「ぜん息」の者の割合は、男子は小学校で低くなっているほかは、前年度より高くなっている。
- ・女子は高等学校で高くなっているほかは、前年度より低くなっている。
- ・すべての学校において女子より男子の方が高くなっている。

アトピー性皮膚炎

- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、男子は幼稚園、小学校で低くなっているほかは、前年度より高くなっている。
- ・女子は幼稚園、高等学校で高くなっているほかは、前年度より低くなっている。
- ・高等学校以外の学校において女子より男子の方が高くなっている。

表4 前年度との比較(鳥取県)

(単位:%)

区 分	裸眼視力1.0未満		むし歯(う歯)		ぜん息		アトピー性皮膚炎		
	平成19年度	平成18年度	平成19年度	平成18年度	平成19年度	平成18年度	平成19年度	平成18年度	
男子	幼稚園	x	x	52.10	60.50	1.40	0.72	4.70	4.92
	小学校	28.00	28.29	72.30	72.18	9.10	9.14	8.10	9.36
	中学校	48.90	50.30	59.00	63.98	5.70	5.58	5.30	4.95
	高等学校	67.10	59.41	68.90	71.41	3.40	2.60	5.00	4.45
女子	幼稚園	x	x	50.60	52.68	0.40	0.68	4.50	4.29
	小学校	34.60	33.81	68.40	68.04	5.30	5.96	7.30	8.62
	中学校	59.00	59.52	64.70	69.73	3.80	3.83	4.50	5.42
	高等学校	76.30	69.82	74.40	77.60	2.70	2.61	5.50	4.50

(注)1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。

2 「x」はサンプル数が少なく、誤差が大きい(標準誤差が5%以上)ため統計数値を公表しない。

3 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。

4 「アトピー性皮膚炎」は平成18年度より調査項目に追加。

(2)全国平均値との比較

裸眼視力1.0未満の者

- ・「裸眼視力1.0未満の者」の割合は、男子、女子とも小学校、中学校、高等学校で全国平均値より高くなっている。
- ・小学校、中学校、高等学校では、鳥取県、全国平均値ともに男子より女子の方が高くなっている。

むし歯(う歯)

- ・「むし歯」の者の割合は、男子、女子ともに幼稚園で低いほかは、全国平均値より高くなっている。

ぜん息

- ・「ぜん息」の者の割合は、男子、女子ともに幼稚園で低いほかは、全国平均値より高くなっている。
- 特に男子は小学校(9.10%)で全国平均値(4.73%)より4.37ポイント高くなっている。

アトピー性皮膚炎

- ・「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、男子、女子ともにすべての学校において全国平均値より高くなっている。
- 特に男子は小学校(8.10%)で全国平均値(3.87%)より4.23ポイント、女子は小学校(7.30%)で全国平均値(3.40%)より3.90ポイント高くなっている。
- ・全国平均値ではすべてにおいて男子が女子を上回っているのに対し、鳥取県では幼稚園、小学校で男子の方が割合が高く、中学校、高等学校では女子の方が割合が高くなっている。

表5 全国平均値との比較

(単位:%)

区 分	裸眼視力1.0未満		むし歯(う歯)		ぜん息		アトピー性皮膚炎		
	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	
男子	幼稚園	x	25.79	52.10	54.79	1.40	2.73	4.70	3.37
	小学校	28.00	25.21	72.30	66.94	9.10	4.73	8.10	3.87
	中学校	48.90	47.38	59.00	56.22	5.70	3.65	5.30	3.00
	高等学校	67.10	52.27	68.90	66.36	3.40	1.95	5.00	2.47
女子	幼稚園	x	26.64	50.60	52.61	0.40	1.72	4.50	3.00
	小学校	34.60	31.07	68.40	63.92	5.30	3.06	7.30	3.40
	中学校	59.00	55.13	64.70	59.99	3.80	2.49	4.50	2.57
	高等学校	76.30	58.63	74.40	70.65	2.70	1.64	5.50	2.20

- (注)1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。
- 2 「X」はサンプル数が少なく、誤差が大きい(標準誤差が5%以上)ため統計数値を公表しない。
- 3 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。
- 4 「アトピー性皮膚炎」は平成18年度より調査項目に追加。

(3) 30年前(親の世代)との比較

裸眼視力1.0未満の者

・「裸眼視力1.0未満の者」の割合は、小学校、中学校、高等学校で高くなっている。
特に小学校では30年前の約2倍となっている。

むし歯(う歯)

・「むし歯」の者の割合は、小学校、中学校、高等学校で30年前より低くなっている。
特に中学校では30年前より34.37ポイント低くなっている。

ぜん息

・「ぜん息」の者の割合は、小学校、中学校、高等学校で30年前より高くなっている。
特に小学校では30年前より6.71ポイント高くなっている。

表6 30年前(親の世代)との比較(鳥取県)

(単位:%)

区 分	裸眼視力1.0未満		むし歯(う歯)		ぜん息	
	平成19年度	30年前	平成19年度	30年前	平成19年度	30年前
小学校	31.20	16.07	70.40	96.65	7.30	0.59
中学校	53.90	34.27	61.90	96.27	4.80	0.22
高等学校	71.60	54.33	71.60	97.42	3.10	0.07

(注)1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。

2 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。

3 30年前(親の世代)は、昭和52年度のデータ。